



会長 福田 昭一 幹事 高野 竜也

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2021~2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021年7月27日 3号
2021年7月20日 第3例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | |
|----------------------|----------------|------------------------|
| 1. 点 鐘 | 福田昭一会長 | 東京 2020 オリンピック 聖火リレー報告 |
| 2. ロータリーソング (音楽のみ黙唱) | | 香取秀総会員, 高橋信子会員 |
| | 「奉仕の理想」 | 環境保全委員会より委員会報告 |
| 3. 幹事報告 | 高野竜也幹事 | 完賀委員長 |
| 4. 委員会報告 | | 7. 出席状況報告 |
| 5. ニコニコBOXの発表 | 井坂雄祐副SAA | 8. 点 鐘 (点鐘のみ) |
| 6. クラブ協議会 | 高野竜也幹事 | 福田昭一会長 |
| | 本年度の事業計画と抱負の発表 | (司会進行 説田賢哉 SAA) |

本日のプログラム

白井秀治社会奉仕委員長, 稲本修一ロータリー財団委員長によります研究会報告でございます。

次週のプログラム

8月3日(火)の例会は休会。8月10日の例会は、2020-21年度決算、2021-22年度予算についての全員協議会でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
86	66	4	80.49	3・7・12	なし	3	84.15

【委員会報告】

ゴルフ同好会

吉 田 正 一 ゴルフ同好会幹事

コンペのご案内を皆様のテーブルに置かせて頂きましたので、場所はサミットゴルフクラブです。皆様の参加を宜しくお願い致します。参加申込締め切りは8月10日です。

環境保全委員会

完 賀 浩 光 委員長

先程、幹事からも案内がございましたが、担当委員会からお知らせをさせて頂きたいと思っております。

地球環境保全「茨城海岸美化プロジェクト」という事で全世界のロータリアンが同じ日に行う大きな夢を持ったグローバルプロジェクトでございます。また、プロジェクトホストは私ども2820地区でございまして、世界に対して起振をしていこうという重要な意味を持ったプロジェクトでございます。日時は2021年9月12日(日)AM10:00~12:00に海岸清掃を行いますので、皆様のご参加を宜しくお願い致します。

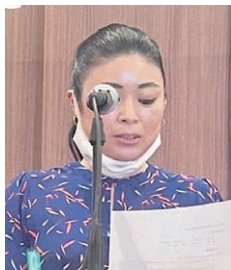
【クラブ協議会】

高 野 竜 也 幹事

本日も各委員長から本年度の事業計画と抱負の発表をお願いします。

出席委員会

桜 井 彩 委員長



副委員長大山和美会員、委員に今野和義会員、佐藤章会員、松本圭司会員です。

(1) 出席率95%以上を目標とします。

イ) 出席率の悪い会員には、メイクアップ有効会合等を告知して出席を促します。

ロ) 無断欠席をなくすよう機会あるごと、発言します。

ハ) 例会事前欠席表を各テーブルに設置し、欠席予定を記入頂きます。

ニ) 直前欠席連絡は、月曜日正午までに事務局までをお願いします。

ホ) 欠席5回以上の会員に出席勧奨の連絡をします。

(2) 事務局の協力を得て、出席数の正確を期します。

イ) メイクアップを確認します。

ロ) 月のメイクアップできる会合の案内を、各テーブルに配布付します。

(3) 出席表彰をする。

イ) 毎例会時に全員出席の表彰をします。

ロ) 毎年度通算100%出席の皆出席表彰を行い記念品を贈呈します。

(4) 毎例会全員出席卓が3卓以上になるように努めてまいります。

出席率を上げるためには、やはり楽しんで来て頂けるのが一番だと思うので、親睦活動委員会さんと協力して、いいアイデアを出し合って気持ちよく出席して頂けるように1年間頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

青少年奉仕委員会

吉 田 正 一 委員長



副委員長は米山忠康会員，委員に，片岡哲会員です。

事業計画は

- (1) ローターアクト及びインターアクトの活動支援
 - (2) ボーイスカウトへの活動支援
 - (3) 青少年のための講演会の開催
 - (4) ロータリー・ローターアクト・インターアクトの交流会の開催
 - (5) 地区青少年委員会との連携の強化
- (6) 横の繋がりを大切にし，ローターアクト委員会・インターアクト委員会併せて1つの委員会と考えて活動する。
- (7) インターアクトからローターアクトへ繋がるシステム作り
- (8) 情報の共有化
- (9) 長期青少年交換留学生の受け入れの支援
- (10) 予算として青少年のための講演会 ¥100,000，ボーイスカウトへの支援 ¥30,000 交流会開催 ¥100,000 計 ¥230,000 です。

インターアクト委員会

米 山 忠 康 委員長



副委員長に和泉好一会員 委員に的場弘幸会員です。

事業計画は

- (1) 台湾研修旅行
 - (2) インターアクト年次大会
 - (3) 赤い羽根街頭募金への参加
 - (4) 青少年のための講演会への参加協力
 - (5) インターアクト例会への参加
- (6) 各団体への協力及び参加
- (7) 予算は¥750,000 となっております。
- 昨年もコロナ禍の中でほとんど事業が行われておりませんが，本年度もコロナの感染状況をみながら行っていきたいと思っております。

ローターアクト委員会

片 岡 哲 委員長



副委員長に中山元章会員 委員に黒澤不二夫会員，杉田一男会員です。

まずは，予算承認ありがとうございました。

ローターアクトの現状についてお話したいと思います。

現在コロナ禍でいろいろとあり，会長不在という状況で組織として稼働していません，ほぼ2年間活動ができていません。

また，国際ロータリーの意向によりアクトのあり方が変わりました。これによりアクトはロータリアンと同等の立場となり，自律性を持った独立した団体となります。

また，ロータリーの立ち位置はアクトの提唱クラブではなくホストクラブに変更となりました。

今年1年の活動は状況により左右されてしまいますが，前委員長と連携を取りながら進めていきたいと思っております。以上，一年間宜しくお願い致します。

国際奉仕委員会

稲野 邊 穰 委員長



副委員長に磯山会員，委員に井坂公一会員 鈴木常生会員です。
事業計画に関しましては，

- (1) ロータリー財団，米山奨学会と連携を図り各事業を推進します。
 - (2) 姉妹ロータリークラブ大甲RCとの交流，並びに共同事業を推進します。
 - (3) 国際交流協会（土浦市）への協力。
 - (4) 「この指とまれ」への協力。
 - (5) 「この指とまれ」の提唱クラブとなることを検討する。
- 予算は，大甲RCとの交流費用 ¥200,000 国際交流協会会費 ¥10,000 「この指とまれ」への支援金 ¥100,000 計 ¥310,000 を予定しております。どうぞ宜しくお願いします。

ロータリー財団委員会

稲本 修一 委員長



副委員長に海老原会員，委員に大島三郎会員，金塚功会員です。
11月にロータリー財団月間があります。

- ・通算で\$1,000を寄付しますとポール・ハリスフェローとなります。
 - ・複数回募金しますと，マルチプル・ポール・ハリス・フェローとなります。
 - ・毎年\$100ずつ寄付をしますと財団の友となります。
 - ・恒久基金は，ロータリーの活動を末永く支えるための基金です。\$1,000国際ロータリー財団が運用して運用益を奉仕活動に使用するための基金であります。
 - ・また，ポール・ハリス・ソサエティ会員は，毎年\$1,000寄付をするという制度でして，2820地区はポール・ハリス・ソサイティ会員が日本で一番多い地区と聞いております。
- 皆様には，年次寄付\$150+ ポリオプラス\$20の\$170をご協力願うわけですが，是非とも皆様の中でポール・ハリス・ソサイティ会員を目指していただくと共に，11月の月間には寄付にご協力いただきたいと思っております。これは，国際ロータリーのほうに半分，半分は3年後に地区に戻ってきて，「この指とまれ」等の奉仕活動に用いられるという事ですので是非そのことも覚えてご協力のほど宜しくお願い致します。

米山記念奨学委員会

阿部 彰 委員長



副委員長に今泉孝之会員，委員に清野宏之会員，吉原健一会員です。
特別寄付を全会員にお願いし，地区目標を達成するように努めます。
米山記念奨学会寄付目標を，一人当たり普通寄付と特別寄付を合わせ¥25,000以上とします。

10月の米山月間に周知しますのでご協力の程，お願い致します。
また，会長より米山記念館見学の一泊の研修旅行を企画，運営をできないかと宿題を頂いておりますので，コロナの状況を考えながら皆様に参加できるように思っておりますのでご協力の程，宜しくお願い致します。

【東京2020オリンピック聖火リレー報告】

聖火リレー走者として

香 取 秀 総 会 員



6月に入会致したばかりですが、早々にこのような席に立たせて頂きまして、ありがとうございます。

本日は、先日聖火リレーに参加させて頂いたので、その件についてと、私の役目について少し含めながらお話をさせて頂きたいと思っております。

私の役目は、聖火リレーに参加することによって火を繋ぐことですが、それだけではないと感じております。今回の聖火リレーのスローガンは hope lights our way (希望の道をつなげよう) という事で、つまりどこからか伝わってきたものを私が預かり、どこかへ繋いでいくという役目の一任を担ったものだと感じております。

まず、先人から頂いたものを預かるという事で、本日履いてきた靴は1964年前回の東京オリンピックで5000人の聖火ランナーが履いた靴の復刻版が販売されたので私はこの靴を選びました。私はこの靴を履いて次の世代に繋げていこうと考えました。

私は役目上幼稚園の先生をしており、月に1回、年長児の子ども達約150名に授業を行っております。5月、6月、7月と3か月に渡って聖火リレーとオリンピックについて話をしました。お手元に資料の右下にあるマークは、東京2020教育プログラムが行われており、当幼稚園も認証をいただいて指定校になっております。

まず、オリンピックですが1896年アテネで第1回大会が行われました。主催者はクーベルダンという伯爵がオリュンピア大祭というものを始められたものでございます。

後程、この大祭がどのように聖火リレーにつながっていくかお話したいと思います。

今回、東京2020大会ですが開催の回数としては、第32回となります。しかし3回中止になっております。その内の一つが1940年の東京オリンピック、冬季のオリンピックは北京2022大会で24回となります。その内2回中止になっており、その内の一つが1940年の札幌オリンピック、日本は5回中止になった内2回が中止になっています。そういった意味では今回東京で開催されて本当に良かったと思います。

子ども達には次のような話を致しました。

オリンピズムという発想のもとで、これからどのような大人に成長してほしいかという事で子ども達にわかりやすい内容で、「けんこうなところとからだ」、「うそをつかないひとになる」、「勝ったひとをすごいと思い、おめでとうを言える」、「ともだちになり、なかよくけんかをやめる」と話をしました。この最後の部分の「ともだちになり、なかよくけんかをやめる」これが聖火リレーにつながっているものだと私は思っております。

現在は近代オリンピックと言われていますが、それに対して古代オリンピックというものがありました。

古代オリンピックの心では、「開催期間中は火を灯し続ける事」、「選手が移動する期間と開催中は戦争を中止する事」この2つが行われておりました。これをオリンピック停戦と言い、守らなかった国には、罰金を課したと記録として残されているそうです。現在これはどのようなつながっているかと申しますと、2014年冬季のソチオリンピックで初めてオリンピック休戦が行われまして、今回の東京オリンピックでは、2019年の12月に国連総会で承認を受けて、開会式1週間前の7月16日からパラリンピックが終了する9月12日までを停戦という事で、世界186か国が共同提案という形で出させてもらいました。

そういった意味で、私たちは、オリンピックはスポーツの祭典と認識はあるのですが、開催国はやはり平和という事も意識しながら行っていかなければならないと思っております。

聖火リレー走者として

高橋 信子 会員



7月4日と5日の両日、茨城県で聖火リレーが公道で実施されました。東京オリンピックがコロナ感染拡大のため1年延期となり、今年ようやく紆余曲折を経3月に福島をスタートして、95日目の4日に鹿嶋市から県北・県央を巡り、5日に古河市から水害被害のあった鬼怒川堤防を通過して県南に到着しました。

牛久市役所から牛久駅東口までを6人で繋ぐルートで、第1走者はかすみがうら市の中学3年生、石塚匠馬君です。ボランティア活動として「スポーツ鬼ごっこ」をしているということで、トーチキスは鬼の角をイメージしたそうです。

第2走者の私は、幸運なことに牛久シャトーの中庭までの200メートルを2分かけて完走しました。小雨交じりの天候でしたが、沿道には地元の方が傘をさして拍手で迎えてくださいました。知らない方々が『高橋さん、頑張って!』と声をかけて下さったことに驚くと同時に、とても感激しました。言葉の持つ力に包まれる感覚を今でも覚えています。

第3走者は龍ヶ崎市の堀越武さんでした。消防団長ということで放水のポーズで決めました。牛久シャトーの聖火引継ぎの背景に、娘が「ガンバ!社長」と手書きしてくれた横断幕を掲げて応援してくれたことが、一番の思い出と励ましになりました。

コロナ禍で開催される今回のオリンピックには、様々な意見や感情があり、社会の分断を招いている側面があるのは本当に残念で悲しいことです。2年前に聖火ランナーに応募した頃には想像すら出来ない状況です。

リレーは、老若男女、健常者も障害者も、一般市民が夫々の想いを共に繋いで行くものとなりました。テーマは『Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。』です。トーチは桜の花をモチーフにしたピンク色です。元々、東日本大震災からの復興を世界にアピールする大会のはずでしたが、いつの間にかコロナに打ち勝った証に変化したようです。

オリンピック発祥の地であるギリシャでは、神話によればパンドラの箱から広がった災いの中で最後に残ったのが希望でした。コロナウイルスというパンデミックが世界中に大きな災禍となり、厳しい分断を生じていますが、「平和の祭典」であるオリンピックの意義や目的を考えてみることは、本来の「平和」の意味を問い直すことに繋がると感じています。

コロナ禍で公私共に大きな影響を受けましたが、希望を未来に繋げられるよう努めていきたいと願っています。